

平成31年北海道森づくり研究成果発表会について

企業支援部 普及連携グループ 大西人史

森林研究本部（林業試験場・林産試験場）では、森林整備や木材利用に関する研究成果、技術、活動事例をわかりやすく紹介し、本道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的とした研究成果発表会を、北海道水産林務部と連携して毎年開催しています。

本年は4月16日（火）に「平成31年北海道森づくり研究成果発表会」として、北海道立道民活動センター かでる2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）で開催しました。

発表会は、口頭発表とポスター発表に分かれており、口頭発表の一般部門では、北海道森林管理局から1件、北海道の水産林務部と総合振興局から3件、計4件の発表がありました。

森林研究本部部門では、及川本部長兼林業試験場長が森林研究本部の研究概要が紹介した後、11件の研究成果を次の3つのテーマごとに発表しました。

1. 森林資源の循環利用のために（林業技術）
2. 森林資源の循環利用のために（木材利用技術）
3. 森の役割と森からの恵み

これらの口頭発表では、多くの質問や貴重な意見を頂きました（写真1, 2）。

ポスター発表の一般部門では、北海道森林管理局から1件、北海道の水産林務部と総合振興局から7件、計9件が発表されました。

森林研究本部部門では、28件を発表し、「道産材CLT」、「高強度積層材」、「コンテナ苗」など、内容によってまとまりを持たせてポスターを配置しました。

ポスター展示会場では、各種試作品やサンプル、CLTパビリオンの模型などの展示やビデオ上映などが行われて会場は大変な賑わいとなり、12:45～13:25と15:40～16:20の2回のコアタイム（発表者によるポスター内容の説明時間）を中心に、参加者との間で活発な意見交換が行われました（写真3）。

写真展会場では、北海道水産林務部森林環境局森林活用課による「活躍する森林所有者の紹介」と、北海道林業普及指導職員協議会による、日頃の普及指導活動を紹介した写真展が開催され、こちらも大変盛況でした。

本年の成果発表会は、昨年より100名ほども多い547名もの方々に参加していただきました。その内訳は、企業・団体が245名、行政が124名、大学・研究機関が32名、他は道総研や個人での参加でした。

本誌では発表内容のうち、林産試験場の発表を今号から7月号まで3回に分けて特集しますので、ぜひご一読ください。

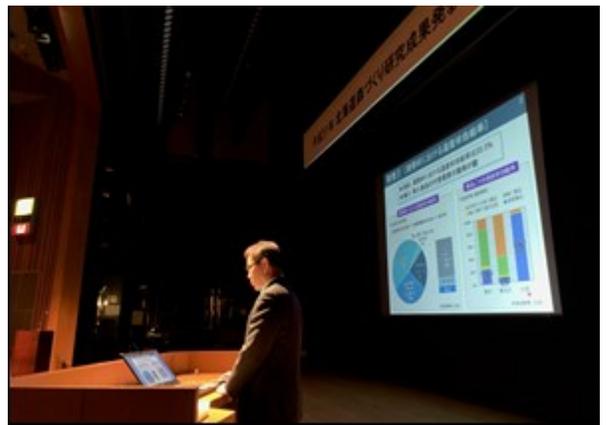


写真1 口頭発表の様子



写真2 口頭発表会場の様子

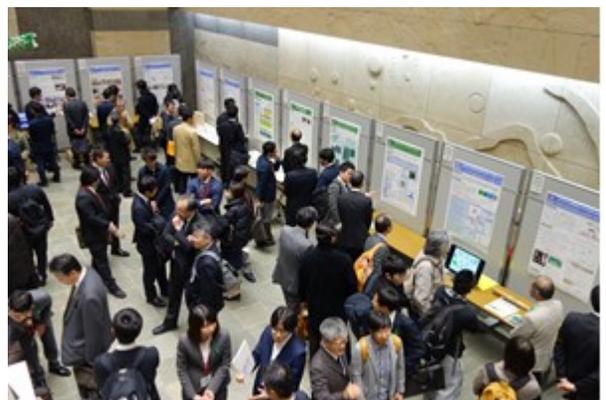


写真3 ポスター発表会場でのコアタイムの様子